

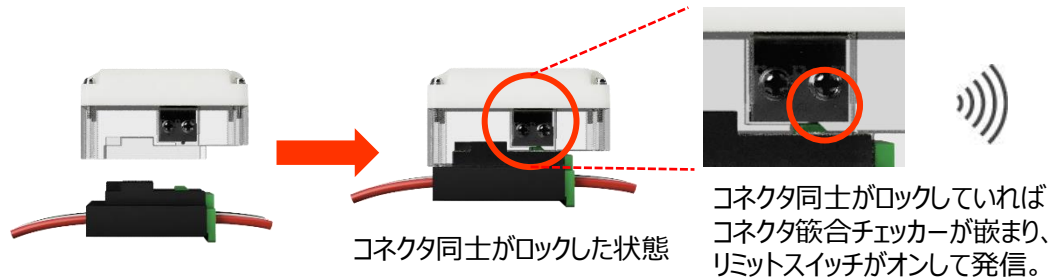
ワイヤーハーネス用コネクタの半嵌合防止

ワイヤーハーネスのコネクタ嵌合作業において、コネクタ同士がロックした状態であることを確認した際に作業実績を無線発信します。

それぞれのコネクタ形状に合わせた専用治具(コネクタ嵌合チェッカー)にスイッチを設け、コネクタ同士がロックした状態にある時のみ、無線発信するしくみとなっています。

コネクタ嵌合チェッカー + 小型送信機TW-850T

<コネクタ嵌合チェッカーが発信するしくみ>



コネクタの嵌合チェック

コネクタ嵌合チェッカー(+送信機1台)：ポカヨケカウンター1台でコネクタ嵌合チェックができます。

(例)コネクタ嵌合チェッカーで同じコネクタ形状の嵌合を2カ所確認します。※コネクタの形状が異なる場合は、専用治具が別々に必要となります。



本製品はカスタム対応品となります。
お気軽に弊社営業部までお問い合わせください。

ワイヤーハーネス用コネクタの半嵌合防止

ワイヤーハーネスのコネクタ嵌合作業において、コネクタ同士がロックした状態であることを確認した際に作業実績を無線発信します。コネクタ嵌合時に爪が出てくる機構を利用しています。コネクタ嵌合時にしっかり嵌め込まれると爪が出て、スイッチを押して無線発信します。

コネクタ嵌合チェッカー + 小型送信機TW-850T

<コネクタ嵌合チェッカーの無線発信するしくみ>



コネクタの嵌合状態のチェック

コネクタ嵌合チェッカー(+送信機1台)：ポカヨケカウンター1台で、コネクタの嵌合状態をチェックできます。

(例)同じ形状のコネクタの嵌合状態を2カ所チェックする場合。※コネクタの形状に合わせたコネクタ嵌合チェッカーが必要となります。



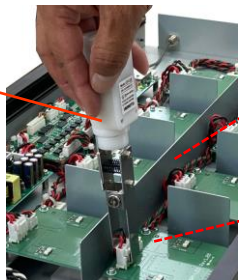
本製品はカスタム対応品となります。
お気軽に弊社営業部までお問い合わせください。

基板用コネクタの半嵌合防止

基板のコネクタ嵌合作業において、コネクタ同士がロックした状態であることを確認した際に作業実績を無線発信します。
コネクタがしっかり嵌め込まれている場合、引っ張りチェッカーで引っ張っても抜けることなく、無線発信するしくみとなっています。

<引っ張りチェッカーが発信するしくみ>

無線ユニット



コネクタ同士がロックしていれば、一定の力で引っ張っても抜けることなくスイッチがオンして発信。

引っ張りチェッカー 【PC-01】



コネクタの嵌合チェック

引っ張りチェッカー：ポカヨケカウンター1台でコネクタ嵌合チェックができます。

(例)引っ張りチェッカーで同じコネクタ形状の嵌合を2カ所確認します。※コネクタの形状が異なる場合は、専用治具が別々に必要となります。

コネクタ嵌合確認
箇所数を設定

シンプルポカヨケカウンター
TW-800R-SCL



カウント表示 2



1カ所目の
コネクタ嵌合チェック



カウント表示 1



2カ所目の
コネクタ嵌合チェック



カウント表示 0

作業完了!

PASS出力+ブザー
でお知らせします!

ブザー

本製品はカスタム対応品となります。
お気軽に弊社営業部までお問い合わせください。